

JIP 報告書

研修生：山根 義貴

研修先：香港城市大学

期間：2014年2月23日～2014年3月21日

実習時間：550分（50分×11コマ）

見学時間：650分（50分×13コマ）

費用：5万円（食費、交通費、お土産代）

※航空券+ホテル代の約30万円はJFから助成金が下りた。

研修先

香港城市大学 語文及伝意学部は九龍塘キャンパスと九龍湾キャンパスに分かれており、各キャンパス間はMTR(地下鉄)で5駅離れており約15分で着く。

九龍塘キャンパスがメインキャンパスで、こちらに通う学習者は日本語を主とし、九龍湾キャンパスは分校となり、こちらの学習者は日本語ともう1言語(中国語乃至英語)を学ぶ。



九龍塘キャンパス



九龍湾キャンパス

研修スケジュール

研修開始前日の日曜日に日本を発つ。飛行時間は4時間半。事前にお願ひしていれば、学生が空港で出迎えてくれ、ホテルまで案内してもらえらる。私の場合、まだ体力的に余裕があったため、ホテル付近の観光案内もしてもらった。

初日、学校関係者に挨拶だけの予定だったが、朗読大会が開かれるということで審査員として参加が決定した(されていた)。



朗読大会の様子



特別審査員席

ウィーク 1 は、文法クラス、会話クラス見学をし、各先生方の教え方を学び、研究する。見学時間は一日多くても 4 コマ(4 時間)しかないので、他の時間は自由に使える。私は、ウィーク 2 から始まる実習の準備にあてたり、学生たちと話したりした。また、土日は基本オフなので平日の空き時間に準備しきれなかった準備をしたり、準備が整っていれば観光したりすることができる。

ウィーク 2~4 は、上述したように実習が始まる。ウィーク 1 の授業見学終了時に来週はどのようにすればよいか質問し、その指示に従った教案を作成する。その後はメールでやりとりをする。わからない箇所を尋ねると親切に指導してもらえた。毎授業後フィードバックしていただき、直せるところは直し次回へと繋げることになる。

実習クラス、使用教材

実習クラスは以下の 9 クラスだった。

Written Communication in Japanese II LAC14803-T04

Oral Communication in Japanese II LAC14801-T04

Oral Communication in Japanese II LAC14801-T02

Oral Communication in Japanese II LAC14801-T03

Written Communication in Japanese IV LAC24802-T02

Oral Communication in Japanese II LAC14801-T01

Japanese for Professional Communication LAC24803-TC1

Oral Communication in Japanese II LAC14801-T03

Written Communication in Japanese II LAC14803-CO1

※ LAC1***	1 年生クラス
※ LAC2***	2 年生クラス
※ T0*	九龍塘キャンパス
※ TC*	九龍湾キャンパス
※ CO1	九龍塘キャンパス全 1 年生

各クラス 25 名ほどで、やはりアジア圏だからか、受け身の学習者が多い。したがって、積極的に発話させるのはなかなか難しい。(こちらが指名するとしてくれる。)

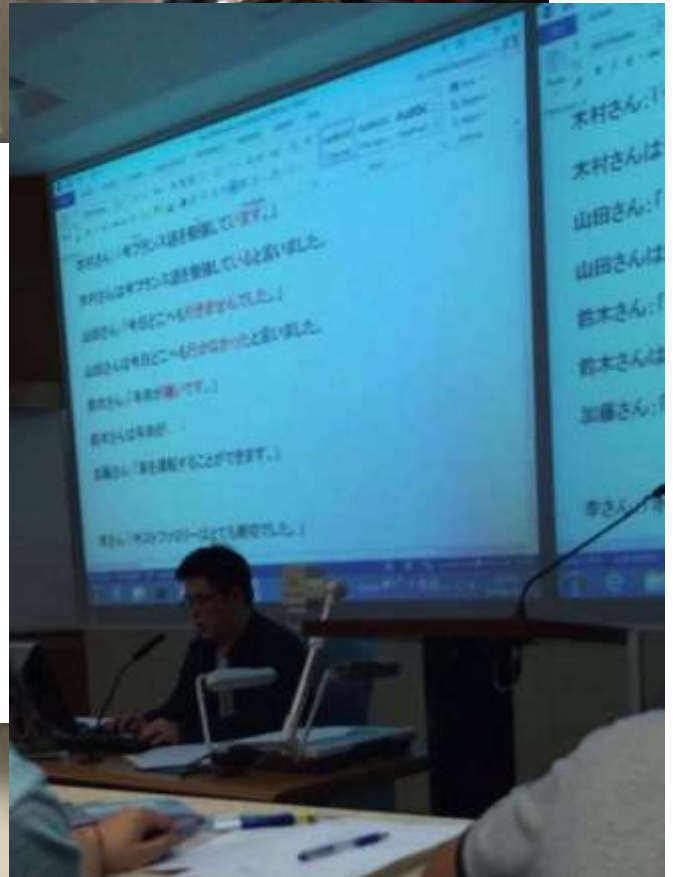
この実習期間中に交流会が設けられ、学習者たちと食事(飲茶)に行き、親交を深める。メインは確かに教育実習であるが、香港の学習者との交流もここでしかできないので、精一杯仲良くなっておくと良い。仲良くなることで、休み時間に会話をしたり、週末出かけたりする機会も増える。また、緊張がなくなることで授業も円滑に進むのではないだろうか。

教材は『みんなの日本語(台湾版)初級 2』、『みんなの日本語(台湾版)進階 2』を用いる。この教材はコーディネーターである高橋先生が貸してくださるので事前に購入する必要はない。



↑ 学生と食事会

大講義室で 120 数名を相手に →
スクリーンに文法を映し説明



↓ 放課後、グループワークに参加



香港生活

宿泊先は、チェーンホテルである紅茶館酒店だった。香港は土地がないと聞いていたので、部屋の大きさは期待していなかったが、それでもやはり狭いと感じた。したがって、一日中部屋にいると息苦しく感じるかもしれない。夜寝るだけと割り切ればなんの支障もなく快適だった。

生活費として5万円持っていった。香港では1食20ドル~50ドルで食べられ(上を見れば青天井)、地下鉄などの交通費は一回約5ドルだった。(その時のレートは一香港ドル約15円。) 贅沢をしなければ一日70ドルくらいで過ごせる。私は平日約100ドルで過ごし、週末は出かけたり、学生たちと食事をしたりしたので200ドルくらい使った。単純計算であるが100ドル*5日+200ドル*2日で900ドル/週。その4倍なので3600ドル/月となりこれを15倍すると54000円となる。

滞在中の写真



あると便利なオクトパスカード
(公共交通機関、コンビニの支払いなどできる)

研修修了証



ホテルの様子



九龍塘キャンパス 講師控室には
専用デスクが用意されており
インターネット環境も整っている

マカオへの日帰り旅行も可能
往復約 350 ドル
移動時間は片道船で 1 時間



世界遺産の聖ポール天主堂跡